



2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 星光PMC株式会社
 コード番号 4963 URL <https://www.seikopmc.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 滝沢 智
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 井内 秀樹 TEL 03-6202-7331
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第3四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	23,016	22.0	2,272	37.0	2,464	46.4	1,641	54.0
2020年12月期第3四半期	18,869	△9.0	1,658	△14.9	1,683	△14.2	1,066	△23.7

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 2,637百万円 (129.0%) 2020年12月期第3四半期 1,151百万円 (△16.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	54.13	—
2020年12月期第3四半期	35.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	39,608	30,478	72.4
2020年12月期	37,069	28,451	72.4

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 28,669百万円 2020年12月期 26,840百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	8.00	—	8.00	16.00
2021年12月期	—	8.00	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,020	19.1	2,940	12.5	3,100	16.2	1,950	15.7	64.31

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期3Q	30,321,283株	2020年12月期	30,743,604株
② 期末自己株式数	2021年12月期3Q	一株	2020年12月期	422,275株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期3Q	30,321,317株	2020年12月期3Q	30,321,346株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び当社の関係会社）が判断したものであります。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、製造業等の一部の業種では持ち直しが見られたものの、新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言の再発令により、経済活動が制限されるとともに個人消費が低迷するなど、景気は非常に厳しい状況で推移いたしました。また、新型コロナウイルス感染症の世界的な収束が依然として見えない中、原油価格の高騰に伴う原料価格の値上がりや中国経済の不安定化による世界経済への影響も懸念されるなど、極めて先行きが不透明な状況となりました。

当社グループの主要販売先におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により製紙業界・印刷インキ業界の需要が、前年からの持ち直しはみられたものの2019年度の水準を下回るなど、依然として厳しい経営環境となりました。

当社グループは、高品質化・生産性の向上や環境保護・省資源等、販売先業界の経営戦略に対応した差別化商品を市場に投入し売上増加に努めた結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は23,016百万円（前年同期比22.0%増）となりました。

利益面では、売上高が増加したことなどにより、営業利益は2,272百万円（前年同期比37.0%増）、経常利益は2,464百万円（前年同期比46.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,641百万円（前年同期比54.0%増）となりました。

セグメント別の経営成績は次の通りであります。

・製紙用薬品事業

製紙業界におきましては、当第3四半期連結累計期間の紙・板紙の国内生産は1,785万トンと前年同期比5.5%の増加でありました。当社グループは、国内市場、中国市場へ差別化商品の売上増加に努め、日本国内、中国ともに売上高が増加した結果、当事業の売上高は、12,937百万円（前年同期比18.6%増）となりました。

利益面では、売上高の増加や原料価格の値上がりなどにより、セグメント利益は956百万円（前年同期比4.3%増）となりました。

・樹脂事業

印刷インキ業界におきましては、当第3四半期連結累計期間の印刷インキの国内生産は20万6千トンと前年同期比1.1%の増加でありました。当社グループにおいては、粘着剤の売上高が順調に増加し、印刷インキ用樹脂・記録材料用樹脂などの売上高も前年を上回った結果、当事業の売上高は、6,158百万円（前年同期比26.4%増）となりました。

利益面では、売上高が増加したことなどにより、セグメント利益は709百万円（前年同期比29.6%増）となりました。

・化成品事業

化成品事業の売上高は、主力製品の輸出売上の増加などにより3,919百万円（前年同期比27.0%増）となりました。

利益面では、売上高が増加したことなどにより、セグメント利益は986百万円（前年同期比105.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における当社グループの財政状態は以下の通りとなりました。

(流動資産)

現金及び預金の増加、原材料及び貯蔵品の増加、受取手形及び売掛金の増加、及び短期貸付金の減少などにより流動資産は21,789百万円(前連結会計年度末比607百万円増)となりました。

(固定資産)

有形固定資産の増加、退職給付に係る資産の増加などにより固定資産は17,818百万円(前連結会計年度末比1,930百万円増)となりました。

(流動負債)

その他の流動負債の増加、支払手形及び買掛金の増加などにより流動負債は8,281百万円(前連結会計年度末比450百万円増)となりました。

(固定負債)

その他の固定負債の増加などにより固定負債は848百万円(前連結会計年度末比62百万円増)となりました。

(純資産)

親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、剰余金の配当、為替換算調整勘定の増加などにより純資産は30,478百万円(前連結会計年度末比2,026百万円増)となりました。その結果、当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は72.4%となりました。また、有利子負債残高1,431百万円を自己資本で除した倍率(D/Eレシオ)は0.05倍となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績につきましては、依然として新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受けており、原油価格の高騰に伴う原料価格の値上がりの影響も懸念されるものの、第3四半期連結累計期間の業績が2021年8月10日公表の業績予想の想定範囲内で推移していることから、通期の連結業績予想の変更はしておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,985,835	3,852,083
受取手形及び売掛金	9,597,896	9,891,582
電子記録債権	1,303,198	1,194,809
商品及び製品	2,343,287	2,540,935
仕掛品	353,204	450,164
原材料及び貯蔵品	1,160,984	1,585,403
短期貸付金	3,089,018	1,802,523
その他	364,167	486,806
貸倒引当金	△15,345	△14,549
流動資産合計	21,182,247	21,789,758
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,315,702	3,427,535
機械装置及び運搬具(純額)	2,498,998	3,223,621
土地	6,684,998	6,889,922
その他(純額)	1,817,169	2,326,414
有形固定資産合計	14,316,869	15,867,494
無形固定資産	60,212	49,836
投資その他の資産		
投資有価証券	887,552	990,795
退職給付に係る資産	13,326	256,777
その他	640,403	684,867
貸倒引当金	△30,977	△31,435
投資その他の資産合計	1,510,304	1,901,003
固定資産合計	15,887,386	17,818,334
資産合計	37,069,633	39,608,093

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,965,748	4,189,695
短期借入金	730,000	730,000
1年内返済予定の長期借入金	73,238	80,004
未払法人税等	347,299	450,626
賞与引当金	655,247	479,526
その他の引当金	—	52,050
その他	2,060,131	2,299,826
流動負債合計	7,831,664	8,281,729
固定負債		
長期借入金	623,885	621,523
役員退職慰労引当金	7,800	7,800
資産除去債務	86,708	87,089
その他	67,727	131,888
固定負債合計	786,121	848,301
負債合計	8,617,785	9,130,031
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000,000	2,000,000
資本剰余金	1,576,265	1,470,923
利益剰余金	23,676,819	24,833,034
自己株式	△105,298	—
株主資本合計	27,147,786	28,303,957
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	261,345	340,937
繰延ヘッジ損益	△178	1,252
為替換算調整勘定	50,305	527,783
退職給付に係る調整累計額	△619,036	△504,752
その他の包括利益累計額合計	△307,565	365,220
非支配株主持分	1,611,626	1,808,883
純資産合計	28,451,848	30,478,061
負債純資産合計	37,069,633	39,608,093

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
売上高	18,869,611	23,016,147
売上原価	13,628,815	16,563,743
売上総利益	5,240,796	6,452,404
販売費及び一般管理費	3,582,678	4,180,116
営業利益	1,658,117	2,272,287
営業外収益		
受取利息	20,910	12,299
受取配当金	15,929	16,397
仕入割引	9,604	9,168
為替差益	—	93,889
補助金収入	—	24,312
その他	42,217	49,371
営業外収益合計	88,661	205,439
営業外費用		
支払利息	9,179	7,180
売上割引	3,687	3,297
為替差損	41,438	—
その他	8,736	2,480
営業外費用合計	63,042	12,958
経常利益	1,683,736	2,464,768
特別利益		
固定資産売却益	—	2,981
投資有価証券売却益	—	15,718
特別利益合計	—	18,699
特別損失		
固定資産売却損	380	—
固定資産除却損	9,823	9,229
投資有価証券評価損	7,866	—
減損損失	10,326	—
特別損失合計	28,396	9,229
税金等調整前四半期純利益	1,655,339	2,474,239
法人税、住民税及び事業税	443,962	723,785
法人税等調整額	△19,949	△62,122
法人税等合計	424,013	661,662
四半期純利益	1,231,325	1,812,576
非支配株主に帰属する四半期純利益	165,312	171,220
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,066,013	1,641,356

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	1,231,325	1,812,576
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△112,433	79,592
繰延ヘッジ損益	△212	1,431
為替換算調整勘定	△40,094	629,702
退職給付に係る調整額	73,029	114,284
その他の包括利益合計	△79,711	825,010
四半期包括利益	1,151,614	2,637,586
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	980,854	2,314,142
非支配株主に係る四半期包括利益	170,760	323,444

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(株主資本の金額の著しい変動)

当社は、2021年7月30日開催の取締役会決議に基づき、2021年8月20日付で、自己株式422,321株の消却を実施いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が105,341千円減少し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が一千円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	製紙用 薬品事業	樹脂事業	化成品 事業	合計	調整額 (注)1. 2	四半期連結 損益計算書 計上額(注)3
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	10,912,127	4,872,306	3,085,177	18,869,611	—	18,869,611
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	40,435	340,796	19,840	401,072	△401,072	—
計	10,952,563	5,213,102	3,105,018	19,270,684	△401,072	18,869,611
セグメント利益	916,828	547,543	479,372	1,943,744	△285,626	1,658,117

(注) 1. 売上高の調整額△401,072千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益の調整額△285,626千円は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位:千円)

	製紙用薬品事業	樹脂事業	化成品事業	調整額	合計
減損損失	10,326	—	—	—	10,326

II 当第3四半期連結累計期間(自2021年1月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	製紙用 薬品事業	樹脂事業	化成品 事業	合計	調整額 (注)1. 2	四半期連結 損益計算書 計上額(注)3
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	12,937,924	6,158,546	3,919,676	23,016,147	—	23,016,147
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	56,521	648,761	25,042	730,326	△730,326	—
計	12,994,445	6,807,308	3,944,719	23,746,473	△730,326	23,016,147
セグメント利益	956,151	709,479	986,201	2,651,832	△379,545	2,272,287

(注) 1. 売上高の調整額△730,326千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益の調整額△379,545千円は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費及び事業企画費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(子会社株式の追加取得)

当社は、2021年11月11日開催の取締役会において、当社の連結子会社である新綜工業股份有限公司の普通株式を追加取得することを決議いたしました。

なお、本件実行については、非支配株主からの基本合意を得ており、株式譲渡契約を速やかに締結する予定であります。

(1) 取引の概要

①結合当事企業の名称及び事業の内容

結合当事企業の名称 新綜工業股份有限公司(当社の連結子会社)
事業の内容 工業用粘接着剤の製造・販売

②企業結合を行う主な理由

新綜工業股份有限公司は、当社の連結子会社(当社議決権比率57.2%)であります。今回の追加取得は、中期経営計画で掲げている海外事業拡大の施策の一環として実施するもので、電子・電材分野をはじめとする先進精密産業において需要伸長著しい粘着剤分野での事業展開を推進、当社の事業ポートフォリオの更なる充実と連結経営の強化を図る事を意図しております。

③企業結合日

本追加取得は台湾經濟部投資審議委員会による外国人投資許可を得た後に行う予定であり、本年12月末頃となる見込みであります。

④企業結合の法的形式

法人及び個人の非支配株主からの株式取得

⑤結合後企業の名称

結合後の企業の名称に変更はありません。

⑥取得する議決権比率

追加取得する議決権比率は35.4%であり、議決権比率の合計は92.6%となる予定であります。

(2) 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引等のうち、非支配株主との取引として処理する予定であります。

(3) 子会社株式を追加取得した場合に掲げる事項

被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価は現金及び預金によるものとなります。取得原価及び対価の種類ごとの内訳については、株式譲渡契約の定めにより、守秘義務があることから非開示とさせていただきます。

(4) 非支配株主との取引に係る当社の持分変動に関する事項

①資本剰余金の主な変動要因

子会社株式の追加取得

②非支配株主との取引によって減少する資本剰余金の金額

現時点では確定しておりません。